

DMTP乳剤 スプラサイド乳剤40	取扱メーカー： クミカ、一農、琉産 原体メーカー： 全農
成分： DMTP〔有機リン系 PRTR・1種〕……………40.0% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………22%〈20～24%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………24%〈22～27%〉 アセトニトリル〔PRTR・1種〕……………3%	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 劇物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- ヤノネカイガラムシに対しては齢期の進んだものにも殺虫効果がある。
- 幅広い害虫の防除に有効。
- 防除効力の持続期間が長い。
- 温度の高低による影響が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………… 〈みかん〉

- ヤノネカイガラムシ、サンホーゼカイガラムシには6月中～下旬に2000倍、ヤノネカイガラムシとロウムシ類の併殺をねらう場合は7月中～下旬に1000～1500倍で散布する。

〈茶〉

- チャノホソガには発蛾最盛期後10日位までに散布し、ホソガのみの場合は1500倍とする。
- その他チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマとの同時防除の際は1000倍とする。
- クワシロカイガラムシには幼虫のふ化期に散布する。
- コカクモンハマキの多発時には効果が劣る。

〈花き等〉

- オンシツコナジラミには約7日間隔で2～3回くり返し散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 花き、花木類ではあらかじめ安全を確かめてから使用する。
- ボルドー液、石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤とは混用しない。
- 冬期の温度によっては、結晶を生じることがあるので、使用時に結晶が見られた場合は、よく振って結晶を溶解してから使用する。危険であるため加熱しない。
- 適用作物（花き、花木）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 施設内で使用する場合には、野外で散布する場合の注意事項を厳守するとともに、窓を開放するなど換気に十分注意し、散布液が室内にこもらないようにする。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	DMTPを含む 農薬の総使用回数
み か ん	サンホーゼカイガラムシ幼虫 ヤノネカイガラムシ (幼虫～未成熟成虫)	1500～ 2000 倍	200～ 700 ℓ	14 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内 (50～100 倍希釈散布 は2回以内)
	ゴマダラカミキリ成虫	1000～ 2000 倍					
	カイガラムシ類 アカマルカイガラムシ幼虫 ルビーロウムシ幼虫 ツノロウムシ幼虫 チャノキイロアザミウマ ユキヤナギアブラムシ ミカンコナジラミ フラーバラゾウムシ	1000～ 1500 倍					
	ミカンキジラミ ミカンバエ成虫	1500 倍					
	サンホーゼカイガラムシ幼虫 ヤノネカイガラムシ (幼虫～未成熟成虫) ゴマダラカミキリ成虫	1500～ 2000 倍					
	カイガラムシ類 アカマルカイガラムシ幼虫 ルビーロウムシ幼虫 ツノロウムシ幼虫 チャノキイロアザミウマ ユキヤナギアブラムシ ミカンコナジラミ ミカンキジラミ ミカンバエ成虫 フラーバラゾウムシ	1500 倍					
かんきつ (みかんを除く)				90 日前 まで			4 回以内
小粒核果類	カイガラムシ類			14 日前 まで	2 回以内		2 回以内
おうとう	オウトウショウジョウバエ			7 日前 まで	3 回以内		3 回以内
マンゴー	チャノキイロアザミウマ			45 日前 まで			
くり	カツラマルカイガラムシ	1000～ 2000 倍		前日まで	2 回以内		2 回以内
びわ	ビワキジラミ	1500 倍		開花期 まで			
パイナップル	パイナップルコナカイガラムシ	1000～ 1500 倍		21 日前 まで	3 回以内		3 回以内
にら	ネダニ類	2000 倍	3 ℓ/m ²	30 日前 まで	1 回	株元灌注	1 回
らっきょう			—	14 日前 まで		30 分間 種球浸漬	
				植付前			

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	DMTPを含む 農薬の総使用回数
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ コカクモンハマキ	1000倍	200～ 400 ℓ	摘採 14日前 まで	1回		1回
	チャノホソガ コミカンアブラムシ	1000～ 1500倍					
	カイガラムシ類		1000 ℓ				
花き類・ 観葉植物 (プリムラ、 シクラメン、 すいせん、 チューリップ、 ゆりを除く)	オンシツコナジラミ	1000倍	100～ 300 ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内
プリムラ シクラメン	キンケクチプトゾウムシ成虫 オンシツコナジラミ						
すいせん	ネダニ類 オンシツコナジラミ						
	キュウコンコナカイガラムシ						
チューリップ	オンシツコナジラミ		100～ 300 ℓ		散布	6回以内 (株元灌注は 1回以内)	
	ネダニ類	2000倍	3 ℓ / m ²	発生初期			1回
ゆり	オンシツコナジラミ	1000倍	100～ 300 ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内 (球根浸漬は 1回以内)
	ネダニ類	2000倍	—				
樹木類	カイガラムシ類幼虫	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	発生初期	5回以内	散布	5回以内
	ケムシ類	1000倍					
いぬまき	キオビエダシャク	1500～ 2000倍					
庭木	フラーバラゾウムシ	1000倍					
イチイ	キンケクチプトゾウムシ成虫						
げっきつ	ミカンキジラミ	1500倍					